

ペースメーカー植え込み術クリティカルパス 患者氏名( )様 ( )歳 (男・女) 病名( ) 患者様用  
 埋め込み日時 / ( ) AM/PM 例目 医師署名 ( ) 看護師署名 ( )

月日	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )		
経過	前日(入院)	術前	当日	術後	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目以降~退院日
達成目標	心身ともに安定した状態で手術を受けることができる 手術の説明を受け、理解している	安静を守ることができ 発熱がない 傷から出血しない ペースメーカーが正常に作動している	ペースメーカーを入れた側の腕の安静を守ることができる 感染徴候がない(出血・膿汁・発熱) ペースメーカーについて理解ができる ペースメーカーが正常に作動している	ペースメーカーを入れた側の腕の安静を守ることができる 感染徴候がない(出血・膿汁・発熱) ペースメーカーについて理解ができる ペースメーカーが正常に作動している 退院後の生活の注意点に分かる	退院基準 傷に異常がない 退院後の生活の注意点に分かる							
治療処置 薬剤リハビリ	現在服用している内服薬の確認をし、内服薬は休止・続行です 内服薬 続行・中止 中止する薬( ) 身長・体重測定をします 尿量の測定を開始します 検温を行います 心電図モニターを装着します	内服薬は休止・続行です インスリン・血糖降下剤使用中の方は( )が中止になります	インスリン・血糖降下剤使用中の方は( )から再開してください 中止していた薬は( )から再開してください 傷が痛いときは鎮痛剤を使いますので我慢せず看護師に伝えてください	医師が傷の消毒を行います						抜糸をします ペースメーカーチェックのチェックをします (直接業者が訪問し、チェックをします)		
	点滴を手術の2時間前から開始します	点滴を手術の2時間前から開始します	点滴を手術の2時間前から開始します	点滴を手術の2時間前から開始します								
検査	術前・術後に使用する抗生剤のテストを行います	術前抗生剤の点滴を行います 痛み止めの注射をします	手術後に抗生剤の点滴をします	朝・夕に抗生剤の点滴をします	朝・夕に抗生剤の点滴をします	朝・夕に抗生剤の点滴をします	朝・夕に抗生剤の点滴をします					
	胸部レントゲン 心電図 *外来で行っている場合もあります	胸部レントゲン 心電図	胸部レントゲン 心電図	胸部レントゲン 心電図	胸部レントゲン 心電図	胸部レントゲン 心電図	胸部レントゲン 心電図					
活動安静度 栄養(食事)	安静度に制限はありません	前開きのパジャマに着替えてください	床上安静です 三角巾で腕を固定し、あまり動かさないようにします	トイレ歩行のみできます 三角巾で腕を固定します	病棟内を歩くことができます 三角巾で腕を固定します					三角巾による固定はなくなります 肩の高さまで腕を上げることが出来ます		
	高血圧食が開始になります	午前の手術の場合は朝絶食 午後の手術の場合は昼絶食	術後より食事開始となります	高血圧食が再開します								
清潔排泄	シャワー・入浴ができます とくに制限はありません	手術後の安静が必要なため尿道カテーテルを入れることがあります	尿道カテーテルが入っている場合はそのままとなります。苦痛が強い場合は抜きますが、その場合はベッド上での排泄となります	身体を拭きます(看護師が介助します) 尿道留置カテーテルを抜きます トイレ歩行ができます	下半身シャワー浴ができます 上半身は清拭します				シャワーができます			
説明指導教育	入院時オリエンテーションを行います 入院中に必要な検査・治療を主治医が説明します パンフレットによるペースメーカーの説明を行います 術前オリエンテーションを行います 身体障害者制度について説明します 手術の時、家族の方は( )時までに病室にきてください	必要物品を確認します(前開きパジャマ・バスタオル・三角巾) 家族の方は血管造影室の前で待機してください	安静度についてはその都度説明します 分からないことがあれば看護師に声を掛けてください	自分で脈を測る練習をします						ペースメーカー手帳についての説明をします		

\*この計画はさまざまな理由により変更となる場合があります。予めご了承ください。

費用概算: